

## 管路防災研究所

NEURON Pipeline Resilience Laboratory

# NEWS LETTER

Vol. 18

2023.11

### NEURONにおけるDX

管路防災研究所 代表 岩本 泰一



〒619-0237  
京都府相楽郡精華町光台2-2-5  
日本ニューロン株式会社  
けいはんなサウスラボ  
『管路防災研究所』

お問い合わせ先  
[info@neuron.ne.jp](mailto:info@neuron.ne.jp)

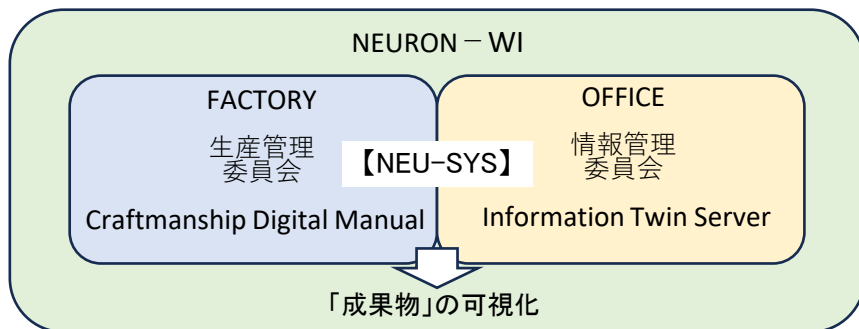


#### 1. DXの目的

『貴社はDXについてどのような取り組みをしていますか?』。この問いに各社回答は様々であろう。DX（デジタルトランスフォーメーション）はデジタル技術活用による業務フローの改善から、究極的には企業風土を変革するレベルまで多岐にわたる。NEURONでは競争力のある「やりがいといごこち」実現企業をめざし、社内向きには独自の働き方改革、市場向きには新たなビジネスモデル創出のため、DXを積極展開しているまさに真っ最中である。

#### 2. 「働き方改革」のためのDX

2019年、NEURONは受注生産の業態に則した独自の働き方改革NEURON-WI (Workway Innovation)をスタートさせた。まず製造方(FACTORY)では工場匠の最短・最速・最善処理をつぶさに画像化した「デジタル手順書」を作成。また事務方(OFFICE)では社内既存情報は「捜さない」を合言葉に情報管理委員会を設置、データ管理一元化・簡略化のため、Twin Serverを駆使してディレクトリーの新陳代謝を図っている。「探す・運ぶ・移す」に加え「考える」も非生産時間とみなし、データ集積と分析のための統合管理システムNEU-SYS(仮称)を導入、生産部門・エンジニアリング部門・事務部門での情報共有水準向上で全社横断的な効率化を図っている。これにより各工程・業務における個々人リードタイム等を検出比較し、「成果物」を可視化、適財適所へのジョブプロテや大胆な動線・レイアウト改変も敢行している。



#### 3. NEW BUSINESS創出のためのDX

市場からのデータや社外からの貴重な情報をどう収集・分析するか?そこから、どんなビジネスチャンスを見出すか?しかしデータはあくまで基礎資料であり、企業風土を変革するまでのクリエイティブな新たなビジネスモデルを生み出すのは、データを有効活用できる創造性豊かな人間、そしてチーム。そのような人材をどう確保し、どう人財に育成してゆくか、模索と挑戦は恒久的に続いて行く。

昨年11月に設立した管路防災研究所は、DXから得られる情報を基に、新規ビジネスモデル創出のための中核組織として、社内外研究員の「交流と共創」により、さまざまなR&D活動をおこなっている。

